

はじめに

技術研究所 所長 八ツ繁 公一

本号をもちまして、安藤建設技術研究所報は 10 号を数える運びとなりました。この間、ご講読、ご指導いただきました皆様方ならびに執筆、編集の関係各位のご尽力に感謝致します。

本号を含めまして掲載されました論文は合計 92 編となりました。内訳は構造系が 61 編、環境系が 16 編、材料・施工系が 12 編、土木基礎系が 3 編です。この中には 4 編の学位請求論文の概要も含まれています。

これらの研究活動において 2000 年度以降は、全社を挙げて推進中の 3C 技術推進プロジェクトの成果となるものもあります。

お客様に満足いただける空間を提供するためには、全社員がそれぞれの分野で専門家としてのカテゴリ No.1 を目指す中で、重点技術開発目標として「プレキャスト」、「集合住宅」、「クリーンルーム」の 3 つのカテゴリを特化して我が社の強みを出そうというものです。

また、昨年度は新しい課題に取り組むために、電磁シールドルームならびにクリーンルーム実験施設を新設いたしました。これらの施設は、近い将来において新しい研究成果が期待される一方で、現在の施設自体としても、お客様へ安藤建設が提案する機能空間の具体事例として体験していただけるものでもあります。

技術研究所は、これからも専門家集団のさきがけとしての技術的な推進者の役割を果たすとともに、営業面においても具体例の検証としての支援を続けたいと思います。

技術研究所報は研究活動の情報発信源として、また、皆様方からいただきましたご指導へのお礼としてお届けしたいと思います。

皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

2004 年 10 月